
浜松市立上島小学校

むくろじ



メールアドレス kamijima-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp
ホームページアドレス <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/kamijima-e/>

令和7年7月23日
第6号

自分を成長させる夏休みに

校長 岩崎光宏

保護者・地域の皆様には、日ごろから本校の子供たちのために、温かい声援と厚い協力をいただき心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。子供たちは皆様に支えられることで、4月当初と比べると、心も体もたくましく成長してきました。自分たちの周りには大勢の大人の方がかかわってくださっているということに、子供たちなりに気づき、感謝の思いをもつ経験も積むことができます。

これから始まる夏休み期間中にも、自分自身を高めることができるように温かく見守っていただきたいと思えます。8月29日の始業式まで暑さ対策はもちろんですが、まずはどの子も健康で過ごすことができ、笑顔で始業式を迎えることができるよう上島小職員みんなですべてを待っています。よろしくお祈りします。

【1学期終業式で伝えたこと】

いよいよ今日で1学期が終了です。今年も暑い日が続き、熱中症に気を付けながらの学校生活となりましたが、73日間先生方や友達と本当によく頑張りました。上島小の860人が毎日、笑顔で元気よく登校してくる様子を見るのが校長先生の楽しみでした。あいさつも気持ちのよいあいさつが進んでできる子がずいぶん増えてきました。すばらしいことです。

1学期は、四ツ池陸上競技場で行った運動会をはじめ、校外学習・学校公開日・5、6年生が参加した30分間回泳や日々の授業など一人一人の活躍する場面をたくさん見ることができ本当にうれしく思っています。

毎日教室を見て回ると友達や先生の話真剣に聞き、授業でも進んで手を挙げて発表する姿やグループでの話し合いでも、自分の考えや思いを上手に相手に伝えることもできるようになってきました。そして何よりもどのクラスでも笑顔がたくさん見られました。勉強していても分かることだけでなく、難しくて分からないこともたくさんあったことでしょう。でも、それぞれのクラスで、担任の先生の励ましや友達と交流することで、できるようになったり分かるようになったりしたことも多かったことでしょう。それが学校で学ぶ良さだと思います。一人だったらあきらめてしまうかもしれない、でも先生や仲間がいるから頑張れた。これからも大切にしてほしいことです。今年は「浜松で一番通いたいと思える学校」にしようとお話してきました。この1学期でどれくらい近づくことができましたでしょうか。

860人の児童を代表して、児童運営委員会の委員長に振り返りをしてもらいます。

ぼくは1学期「みんなでチャレンジ」の目標に近づき「浜松で一番通いたい学校」にするためには、まずは活気のある小学校にすることが必要だと考え、児童運営委員会で「あいさつ運動」を企画しました。具体的にはあいさつのよいところを伝えたり、朝廊下でポスターを持つといった運動をしたりしてきました。この活動を通してより多くの人があいさつを笑顔でしてくれるようになり「浜松で一番通いたい学校」に一步近づくことができたのではないかと感じています。

しかし、廊下を走ったり、友達の悪口を言ったりする「浜松で一番通いたい学校」にはふさわしくない姿も見かけます。2学期には、このようなことを改善しつつ新しい活動にも取り組んでいきたいです。

1 学期を振り返ってみて、自分自身、学級・学年としての頑張り方や成果はどうだったでしょうか。明日から始まる 36 日間の夏休みでも、一人一人が自分の頑張りたいことやできるようになりたいことの目標をしっかりと立ててほしいと思います。そして、いつどんな時もチャレンジしているその瞬間を大切に過ごしてほしいと思います。できることはもっと欲張って、できないことは少しでもできるように挑戦してください。長い夏休みですから、毎日を計画的に過ごし、始業式には、自分で自慢できる何かを身に付けてスタートしましょう。

上島小を変えるためには、ここに通う 860 人全員の力が必要です。誰かがすごい力を発揮するのではなく、一人一人が少しずつ力を出してくれればよいのです。そうすれば上島小はどう変わることができるでしょうか。どの子ども将来の夢や目標を持ち、学年関係なく上島小に通う仲間と一緒に成長することができる「浜松で 1 番通いたいと思える学校」にすることができます。

しかし、実際は実現が難しいことも分かっています。チャレンジしたけれどなかなかうまく進めることができずに、途中であきらめてしまうこともあると思います。でも、校長先生はこう考えます。結果がすべてではなく、自分がチャレンジしようと考えて、少しでも実践することができればそれでよしとだと。成功・失敗を考えず、いろんなことに挑戦してほしいと思います。

自分の命は自分で守る

生徒指導主任 高橋 靖人

どの子ども楽しい夏休みを過ごすために「**自分の命は自分で守る**」ことを意識して生活してください。そのためにも「**かぶる**」をキーワードとして、みなさんにお話しします。自転車に乗るときには「**ヘルメット**」を、外で活動するときには「**ぼうし**」を「**かぶる**」ようにしてください。「**かぶる**」ことで、何を防ぐことができるのかを考えてほしいです。明日から始まる夏休みでは、暑さ対策はもちろんですが、交通ルールを守り、事故にあわないよう生活していきましょう。

保護者の皆様には、常日頃から子供たちの様子を見守っていただくと同時に、我が子がどこでどのような活動をしているのかも知っておいていただきたいと思います。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。